



森林ふれあい情報

平成20年8月
第8号

中部森林管理局木曾森林環境保全ふれあいセンター
〒399-0001 長野県木曾郡木曾町福島5471-1
TEL: 0264(22)2122 FAX: 0264(21)3151
E-mail: kiso-fureai@rinya.maff.go.jp

福島小学校 6年2組 総合学習で環境教育を実施

木曾町立福島小学校6年2組の児童21名が、校舎裏庭の歩道に、地元で間伐したヒノキを粉砕したチップを敷く作業を5月22日に、また、校庭に埋められているカードを探し出す宝探しゲームを7月10日に行いました。

チップ敷きでは、階段から腐った丸太を取り除き、除草をしてから、木曾森林管理署から提供されたチップを丁寧に敷き詰めていきました。



敷き詰めたチップの上に寝ころび感触を楽しむ児童

児童からは「木の香りがいい」、「フワフワして歩きやすい」といった感想が聞かれました。

宝探しゲームでは、10歩で何メートル進めるかを測って、児童それぞれが自分の歩幅を知り、与えられた方向、距離を頼りにシルバーコンパスを使用して宝探しを行いました。



歩幅を頼りに距離を計測

初めての経験であり、時間内に探し当てたグループはいませんでした、「休み時間等を利用して是非探

してみたい」との声が聞かれました。

6年2組のクラスとは、昨年から総合学習の時間にセンサーカメラを利用して、身近にどのような動物が棲んでいるのか勉強したり、チップ敷きや丸太切りをしたりと森林環境教育に取り組んでいます。

教職員を対象とした研修会を実施

8月4日に上松町赤沢自然休養林等において木曾地区の、8月8日に伊那市手良沢山国有林等において伊那地区の小・中学校の先生方を対象とした森林・林業体験学習研修会を実施しました。

木曾地区においては平成17年度から開催し、今回で4回目となり、教職員15名、講師、スタッフ合わせて総勢24での開催となりました。

午前中は自然休養林内の植物、ヒノキ林木遺産資源保存林等の説明をしながら、屈指の木曾ヒノキ美林「奥干本」まで往復2時間30分ほど自然観察をし、午後は間伐の必要性、熊被害の現状等説明をした後、ヒノキ人工林内での間伐作業を実施しました。



赤沢自然休養林での説明の様子

間伐では、かかり木になった間伐木をロープや木廻しを使い、苦勞しながら処理をしたり、伐倒木の枝払い、玉切り、集積等大いに汗を流しました。

また、伊那地区においてはセンターとしては初めての開催であり、まだ先生方に浸透していないせいか、教職員3名の参加となりましたが、午前中は上伊那地方事務所林務課より管内のシカ対策について、伊那森林官よりニホンジカ被害対策の現状、ヒノキ造林地の説明、除伐2類の説明と作業における安全

指導、スタッフの指導による除伐2類作業、また、午後は信大農学部小林准教授による「植物の光合成と森林の二酸化炭素吸収」という題目で講義・デモンストレーションが行われ、大変中身の濃い充実した内容となりました。



手良沢山国有林での除伐2類の様子

木曽地区については定着し、毎年楽しみにしている先生方もいますが、伊那地区については、今回参加された先生方にリピーターとなっていただき、また、更にPRを行い、来年度以降についても継続して開催していきたいと思えます。

福島中学校1年 予備登山を実施

福島町立福島中学校1年では、毎年行われる登山(今年は御嶽山)を前に、実際の装備を背負って行動する、統率のとれた集団行動がよりよくできるようにする、互いに協力することの必要感を醸成することを目的として、城山国有林の児野山三角点(標高1,291m)への予備登山を7月9日に実施しました。

当日は朝から雨降りとなり、合羽を着ての出発となりましたが、歩き始めると雨も程なく止み、三角点までの道のりを、ふれあいセンター職員及び管轄の福島森林事務所森林官の案内で登りました。

昼食時には、頂上の三角点で森林官が森林・林業の大切さ、役割等について理解を深めてもらうよう森林教室を行い、また、終わりの会では、



本番の御嶽山登山が無事に行われるよう、ふれあいセンター所長から総括及び実際の登山での心構え等の話をして終了しました。



飯島森林官からの森林教室

中日新聞こども記者の取材を受ける

中日新聞社こども記者が、8月25日赤沢自然休養林に取材で訪れ、木曽森林管理署森林ふれあい係長、当ふれあいセンター職員が案内しました。

訪れたこども記者は、中京方面の小学生を対象として中日新聞社が募集を行い、600人を超える応募者の中から選ばれた277人の内男子3名、女子3名の計6名です。

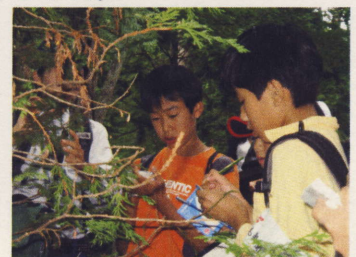
今回の取材目的は、伊勢神宮材として、また、今年度から工事に着手した、名古屋城本丸御殿復元工事用材として使用される木曽ひのきについて、赤沢自然休養林を訪問し、その歴史とともに取材する。とのこと



木曽ひのき大樹の説明を受け見上げるこども記者

当日は、森林鉄道へ乗車して休養林内を観察してから、遊歩道を歩きながら木曽五木について、熊の出没について、立木の測り方について、年輪について、伊勢神宮の御神木伐採について等、時には思いも掛けないこどもの視点からの鋭い質問をしながら熱心な取材を行い、メモを執っていました。

こども記者の記事は、毎週日曜日の「こどもタイムズ」“わくわく探検”で掲載されるとのこと。どんな記事になるか楽しみです。



木曽五木の説明を受ける